

# 株式会社 エーワン 精密

## 平成21年6月期・第2四半期決算説明資料

### 内 容

事業内容	2	部門別状況～切削工具部門	12
当社の事業展開	3	貸借対照表	13
当社の特色	4	設備投資と減価償却	14
平成21年6月期・第2四半期損益状況	5	キャッシュ・フローの状況	15
部門別売上状況	6	今後の事業展開～コレットチャック部門	16
上半期部門別売上状況	7	今後の事業展開～自動旋盤用カム部門	17
輸出売上状況	8	今後の事業展開～切削工具部門	18
上半期輸出売上状況	9	切削工具部門の戦略と受注状況	19
部門別状況～コレットチャック部門	10	業績の推移	20
部門別状況～自動旋盤用カム部門	11	実質機械受注と月次売上高	21

## 事業内容

コレットチャックの製造・販売（昭和51年～）

自動旋盤用カムの製造・販売（昭和45年～）

切削工具の製作及び再生研磨・刃研（平成11年～）

# 当社の事業展開

## 経営理念

高品質な製品をより低コスト、短納期で  
顧客のニーズに応え製品を提供する

ものづくりに不可欠な工具を扱う

利益を出せる事業を行う

業界のトップを狙える事業を行う

## 当社の特色

顧客ニーズの徹底した追及  
顧客の指定する仕様に1本から対応、短納期(標準品は翌日納品)

顧客への直販比率が高く製造・販売両面で利益を享受できる

13,000社に及ぶ顧客からリピートオーダーが入る

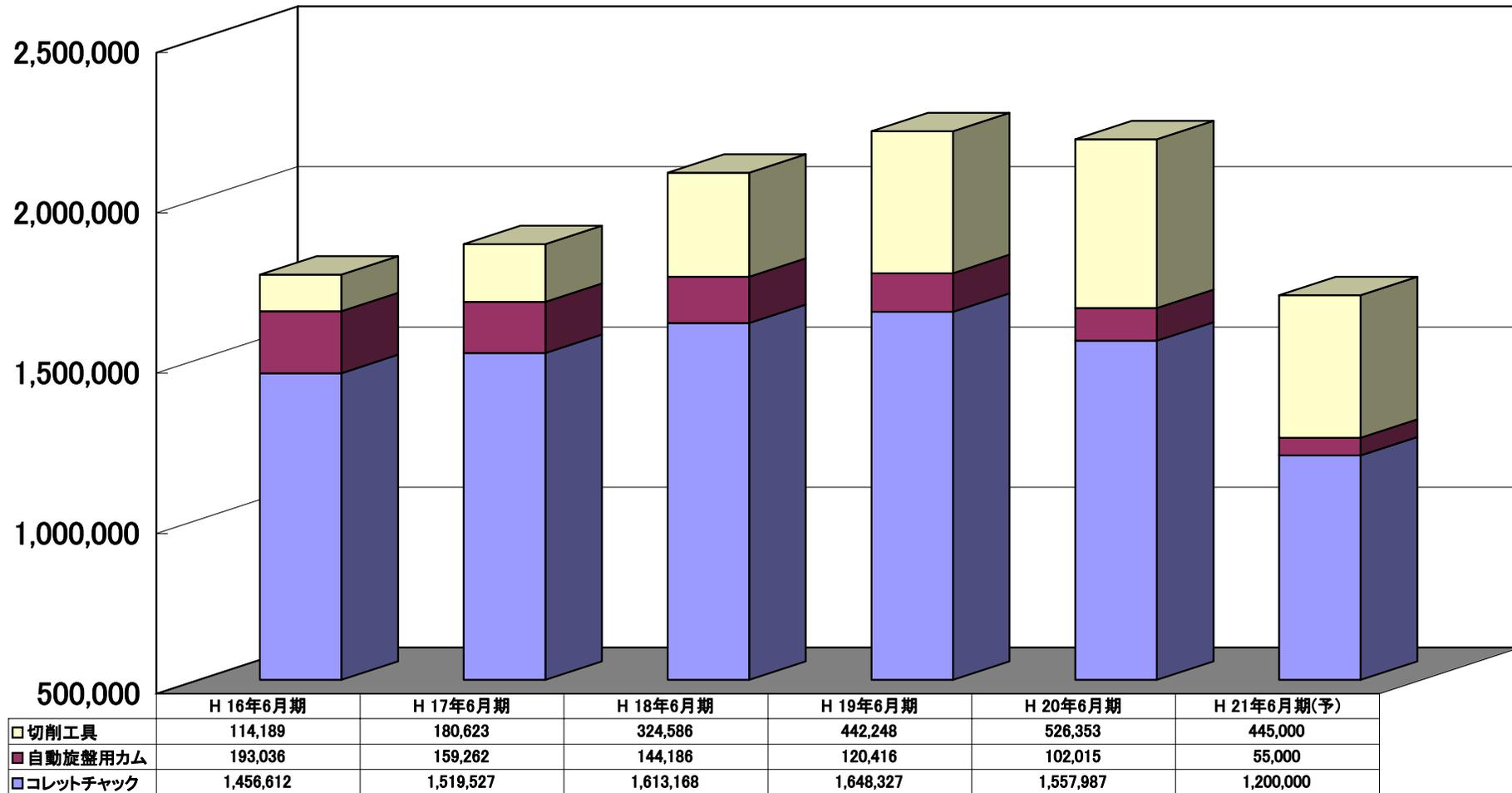
## 平成21年6月期・第2四半期損益状況

(単位：千円)

	平成18年12月 第17期 第2四半期		平成19年12月 第18期 第2四半期			平成20年12月 第19期 第2四半期		
		売上構成比 %		売上構成比 %	前年同期比 %		売上構成比 %	前年同期比 %
<b>売上高</b>								
コレットチャック	831,433	75.4	759,356	70.8	91.3	672,680	70.8	88.6
自動旋盤用カム	65,156	5.9	52,601	4.9	80.7	34,970	3.7	66.5
切削工具	205,753	18.7	260,672	24.3	126.7	242,514	25.5	93.0
合 計	1,102,343	100.0	1,072,629	100.0	97.3	950,165	100.0	88.6
<b>売上原価</b>	518,715	47.1	518,649	48.4	100.0	490,755	51.6	94.6
<b>売上総利益</b>	583,627	52.9	553,979	51.6	94.9	459,409	48.4	82.9
<b>販売費及び一般管理費</b>	158,259	14.4	163,033	15.2	103.0	151,809	16.0	93.1
<b>営業利益</b>	425,368	38.6	390,945	36.4	91.9	307,600	32.4	78.7
<b>経常利益</b>	444,009	40.3	408,424	38.1	92.0	323,199	34.0	79.1
<b>当期純利益</b>	265,523	24.1	244,840	22.8	92.2	12,777	1.3	5.2

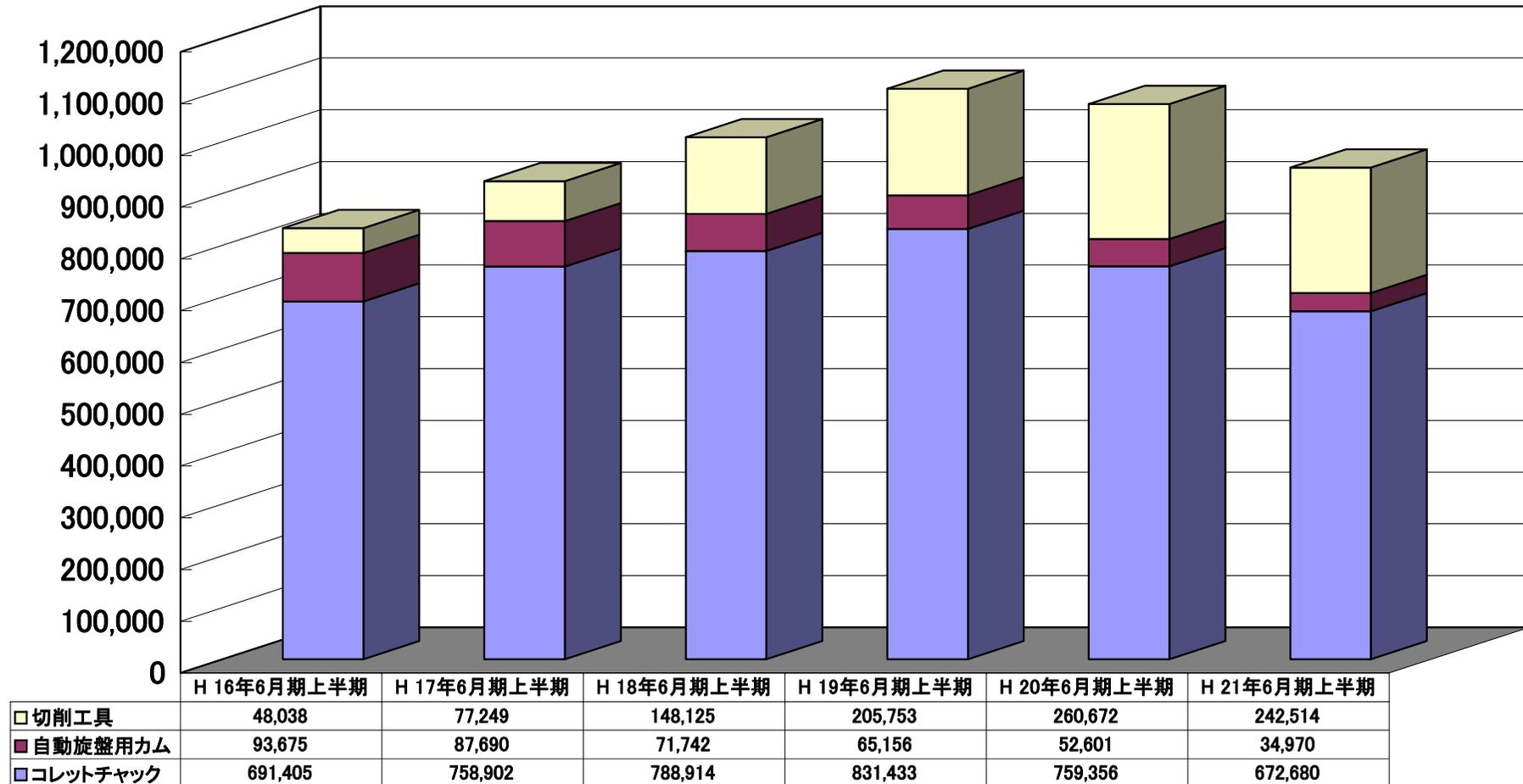
# 部門別売上状況

(単位：千円)



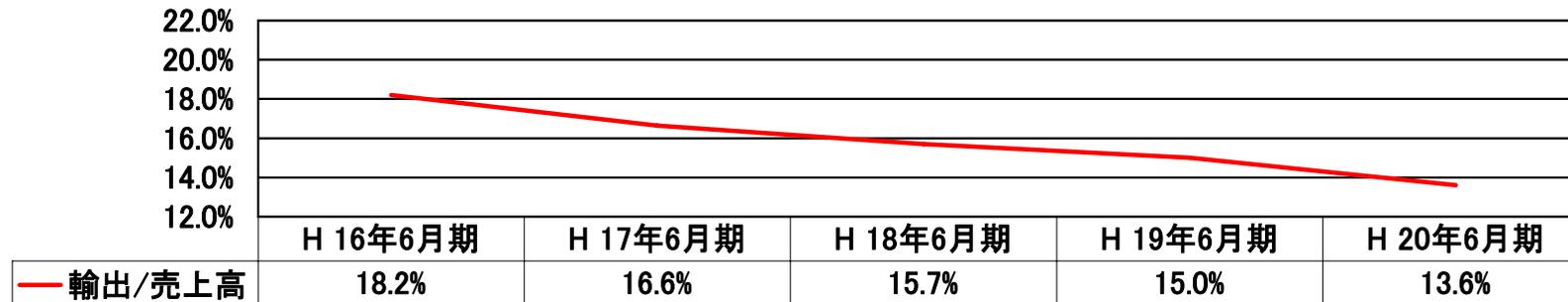
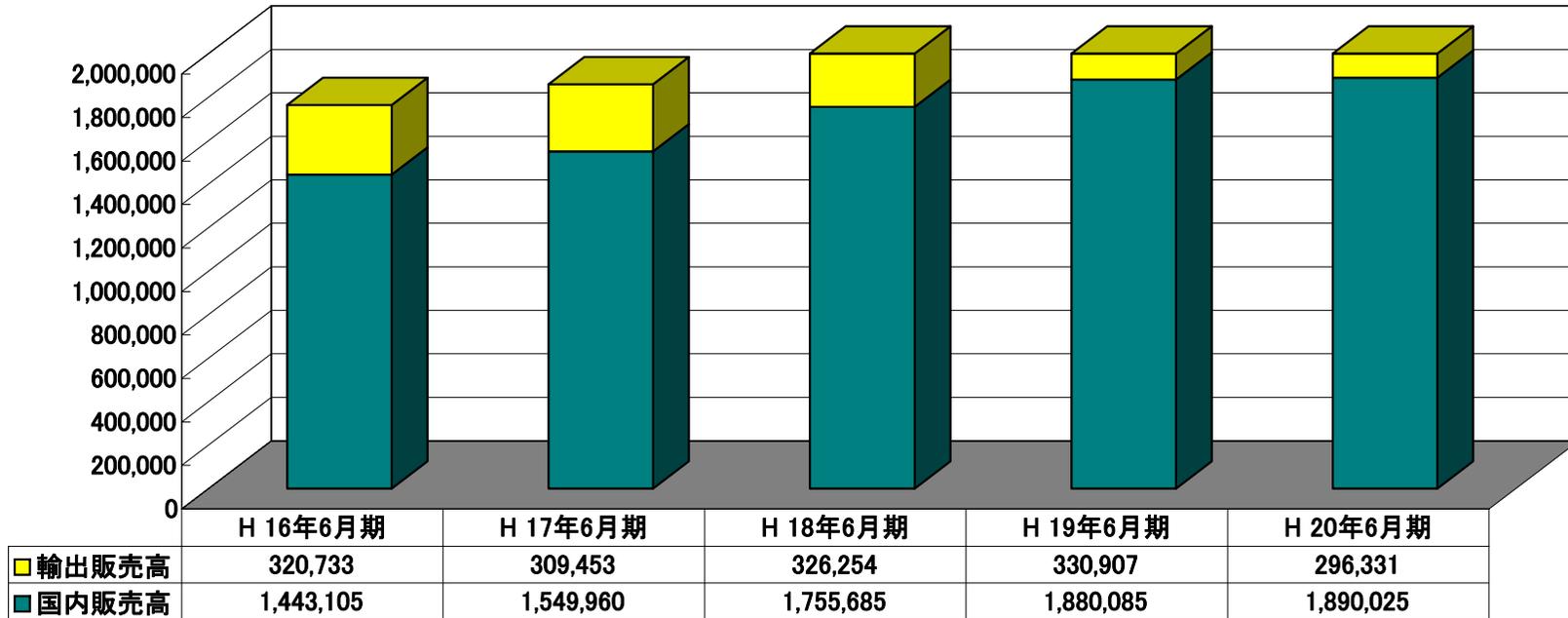
# 上半期部門別売上状況

(単位：千円)



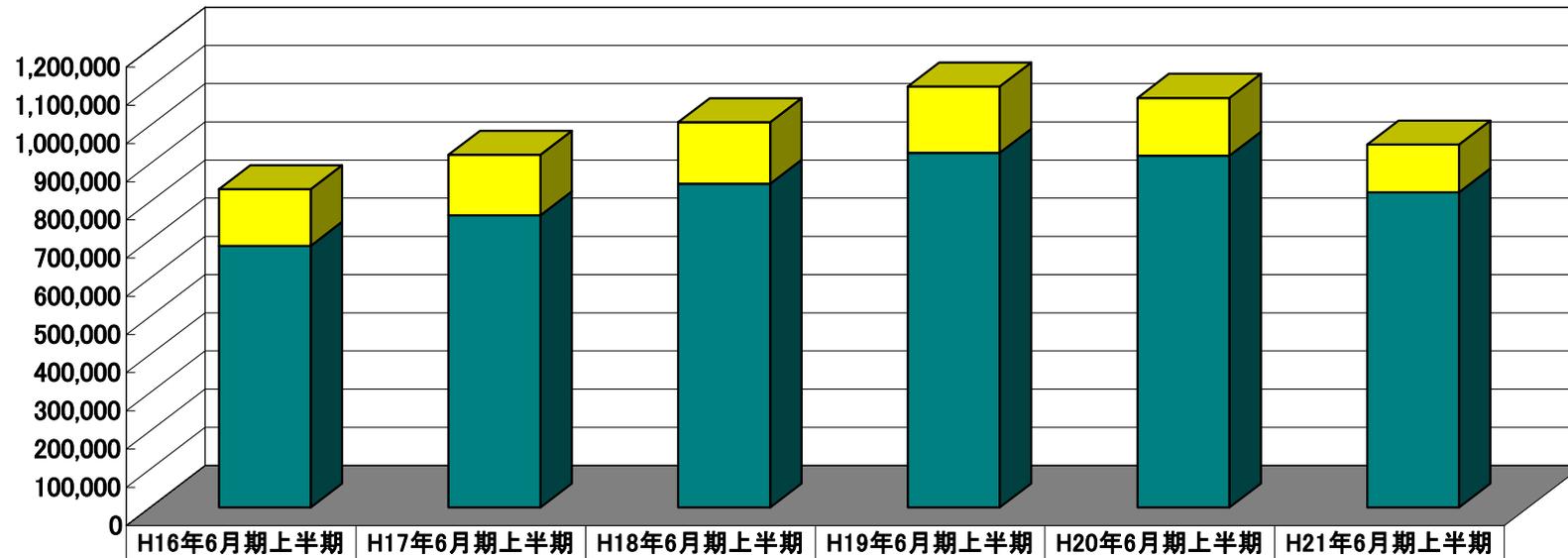
# 輸出売上状況

(単位：千円)

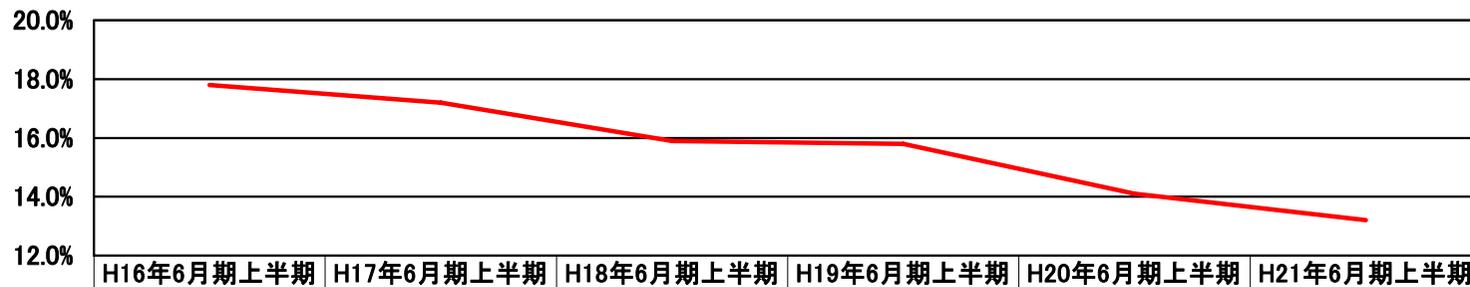


# 上半期輸出売上状況

(単位：千円)



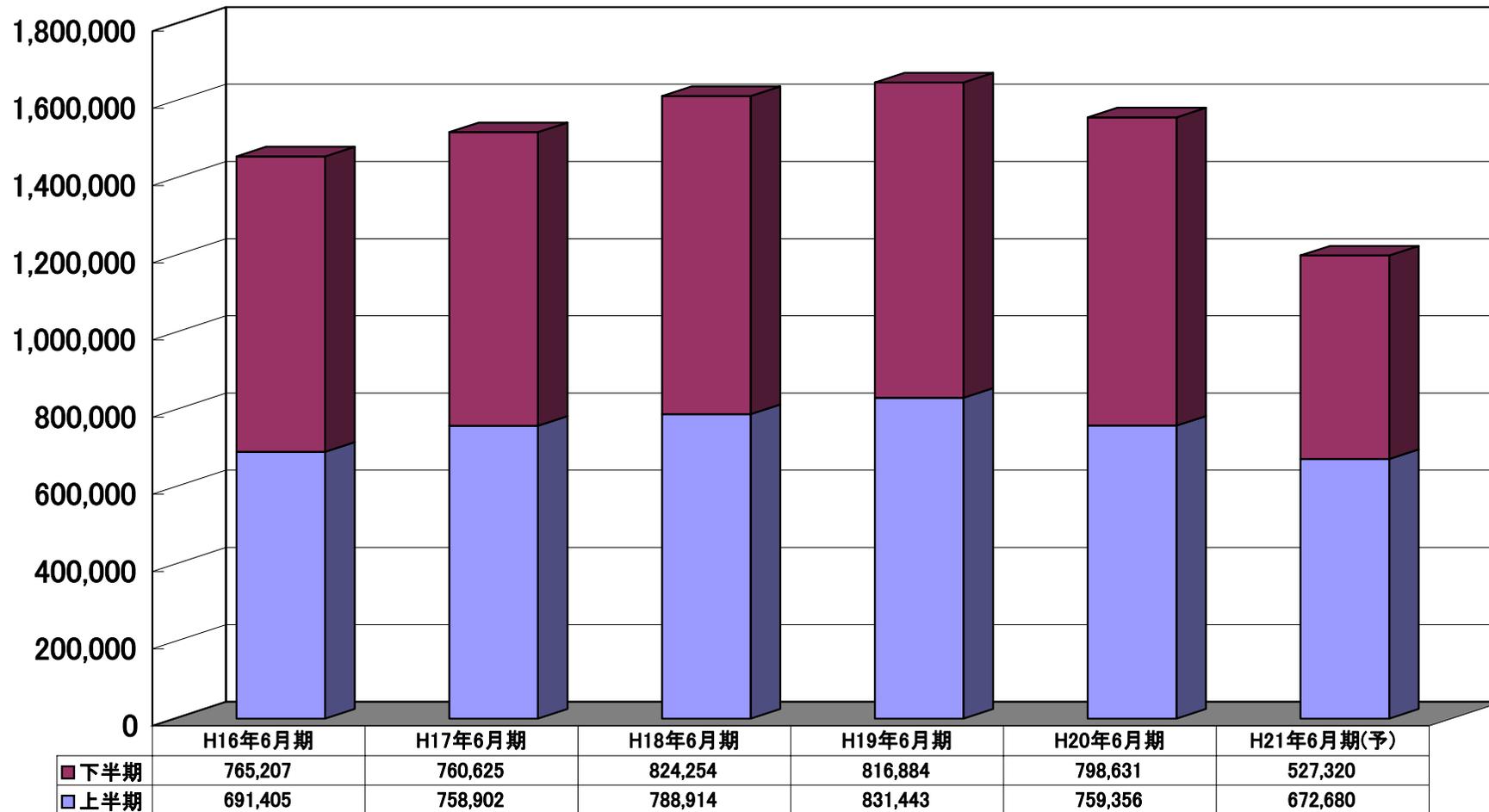
	H16年6月期上半期	H17年6月期上半期	H18年6月期上半期	H19年6月期上半期	H20年6月期上半期	H21年6月期上半期
輸出販売高	147,941	159,134	160,871	173,919	151,624	125,336
国内販売高	685,178	764,708	847,911	928,424	921,004	824,828



	H16年6月期上半期	H17年6月期上半期	H18年6月期上半期	H19年6月期上半期	H20年6月期上半期	H21年6月期上半期
輸出/売上高	17.8%	17.2%	15.9%	15.8%	14.1%	13.2%

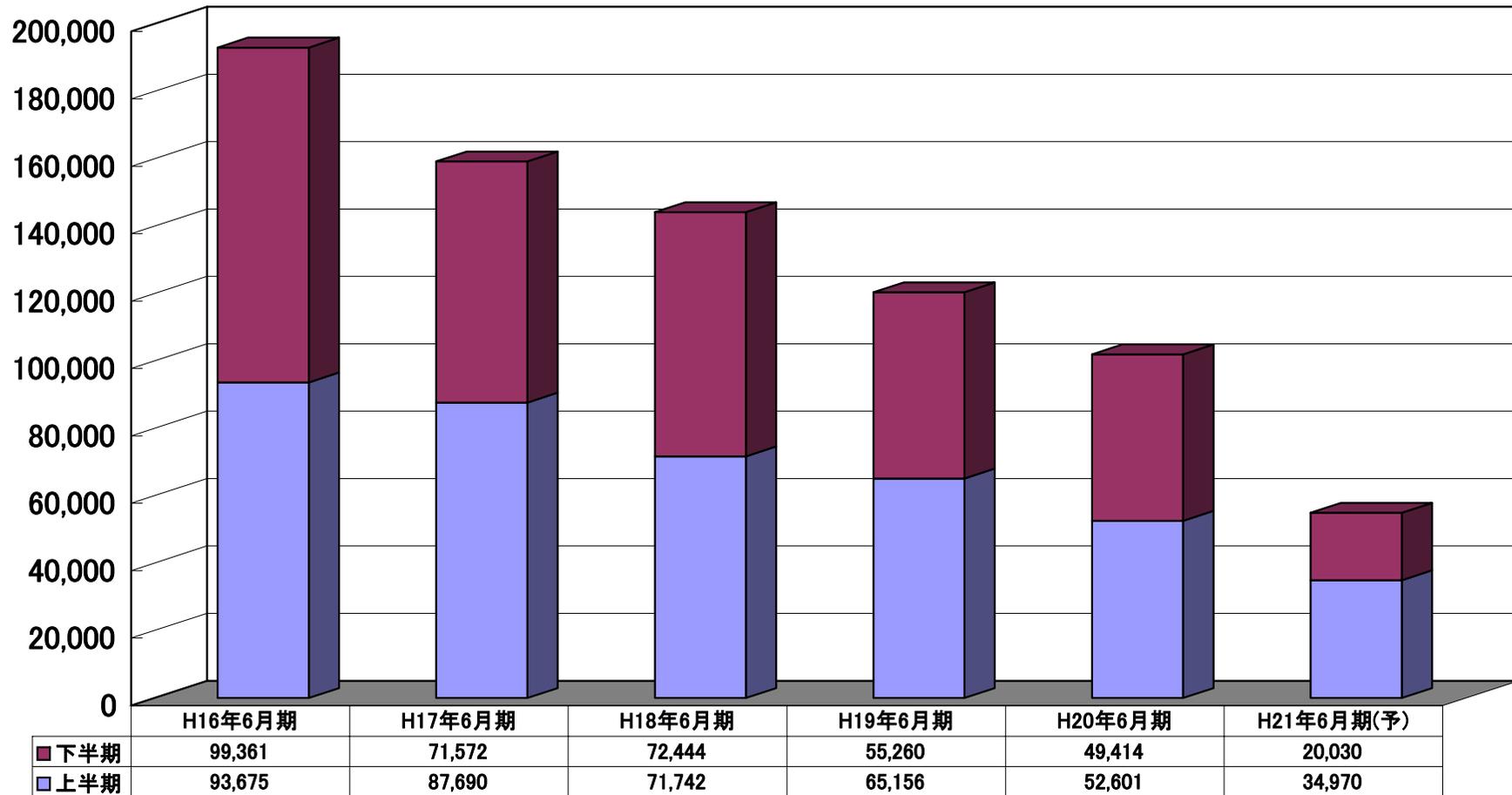
## 部門別状況 ～ コレットチャック部門

コレットチャック部門売上高(単位:千円)



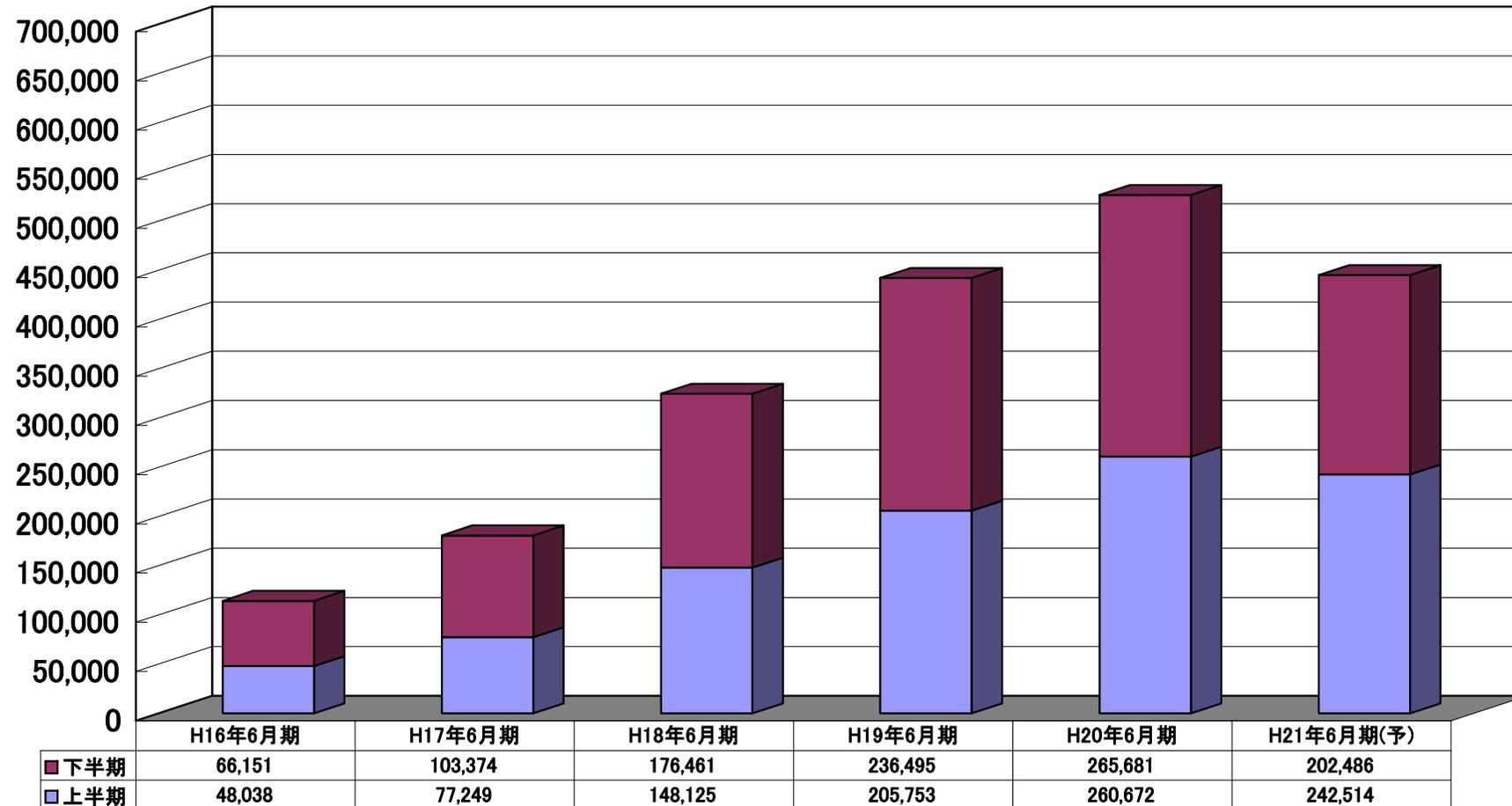
## 部門別状況 ～ 自動旋盤用カム部門

カム部門売上高(単位:千円)



## 部門別状況 ~ 切削工具部門

切削工具売上高(単位:千円)



## 貸借対照表

単位:千円

資 産	平成 18 年 12 月 第 17 期 第2四半期		平成 19 年 12 月 第 18 期 第2四半期		平成 20 年 12 月 第 19 期 第2四半期	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
現預金	1,912,201	27.7%	2,225,960	31.4%	2,583,899	37.6%
売上債権	483,068	7.0%	449,229	6.4%	361,213	5.3%
棚卸資産	140,931	2.0%	176,782	2.5%	215,989	3.1%
その他流動資産	715,084	10.4%	590,723	8.3%	760,165	11.1%
固定資産	3,650,767	52.9%	3,640,088	51.4%	2,945,807	42.9%
資産合計	6,902,051	100.0%	7,082,784	100.0%	6,867,077	100.0%
負債・資本						
買入債務	17,079	0.2%	14,505	0.2%	12,246	0.2%
その他流動負債	307,948	4.5%	351,562	5.0%	214,696	3.1%
固定負債	347,572	5.0%	263,995	3.7%	271,290	4.0%
負債合計	672,599	9.7%	630,063	8.9%	498,233	7.3%
純資産合計	6,229,452	90.3%	6,452,721	91.1%	6,368,843	92.7%
負債・純資産合計	6,902,051	100.0%	7,082,784	100.0%	6,867,077	100.0%

## 設備投資と減価償却実施額

設備投資額 (単位:千円)	H17年6月期	H18年6月期	H19年6月期	H20年6月期	H21年6月期
中間期	106,805	110,003	185,725	182,279	303,846
通 期	144,236	153,724	319,382	196,955	348,846(予)

減価償却費 (単位:千円)	H17年6月期	H18年6月期	H19年6月期	H20年6月期	H21年6月期
中間期	68,410	70,212	70,659	89,107	99,654
通 期	140,994	146,368	158,136	194,751	209,008(予)

# キャッシュ・フローの状況

単位:千円

	平成18年12月 第17期 第2四半期	平成19年12月 第18期 第2四半期	平成20年12月 第19期 第2四半期
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税引き前の当期純利益	444,266	410,015	12,777
減価償却費	70,659	89,107	99,654
法人税等の支払額	-203,406	-176,709	-109,821
その他項目の増減	-6,543	-79,669	399,627
営業活動によるキャッシュ・フロー	304,976	242,744	402,237
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	-168,855	-141,766	-303,846
その他項目の増減	7,389	171	200,465
投資活動によるキャッシュ・フロー	-161,466	-141,595	103,380
財務活動によるキャッシュ・フロー			
有価証券の発行による収入			
配当金の支払額	-158,484	-167,241	-162,056
財務活動によるキャッシュ・フロー	-158,484	-167,241	-162,056
現金及び現金同等物の増減額	-14,973	-66,092	136,801
現金及び現金同等物の期首残高	1,500,440	1,664,321	1,237,303
現金及び現金同等物の期末残高	1,485,466	1,598,229	1,374,104

## 今後の事業展開 ～ コレットチャック部門

### 事業環境

- ◇金属部品加工の微細化・精密化の進展
- ◇大量生産品や高精度を要求されない部品は海外生産へ
- ◇工具の売上は機械稼働率とほぼ連動

### 競合状況

- ◇国内は数社、中国等の工具メーカーの台頭（納期・品質で不安定）

### 当社の事業展開

- ◇専用機・NC旋盤向け特殊コレットチャックの対応力向上
- ◇顧客の要望の充足、納期・品質の徹底

## 今後の事業展開 ～ 自動旋盤用カム部門

### 事業展開

- ◇カム式自動旋盤(すでに製造中止)は単品大量生産向きで少量ながらカムの需要は継続
- ◇将来的には減少傾向

### 競合状況

- ◇数億円の市場規模で既存の中小企業が継続している

### 当社の事業展開

- ◇既存の償却済設備と現状の人員で対応
- ◇低コスト製造を徹底

## 今後の事業展開 ～ 切削工具部門

### 事業環境

- ◇加工複雑化に伴い特殊刃物ニーズ拡大
- ◇高価な超硬工具普及により再研磨ニーズ増大
- ◇加工工程短縮・効率化を図るため、高精度の特殊切削工具へのニーズが高まる

### 競合状況

- ◇市場規模推定250億円
- ◇メーカー系、工具商社、各地域ごとに中小規模専門多数

### 当社の事業展開

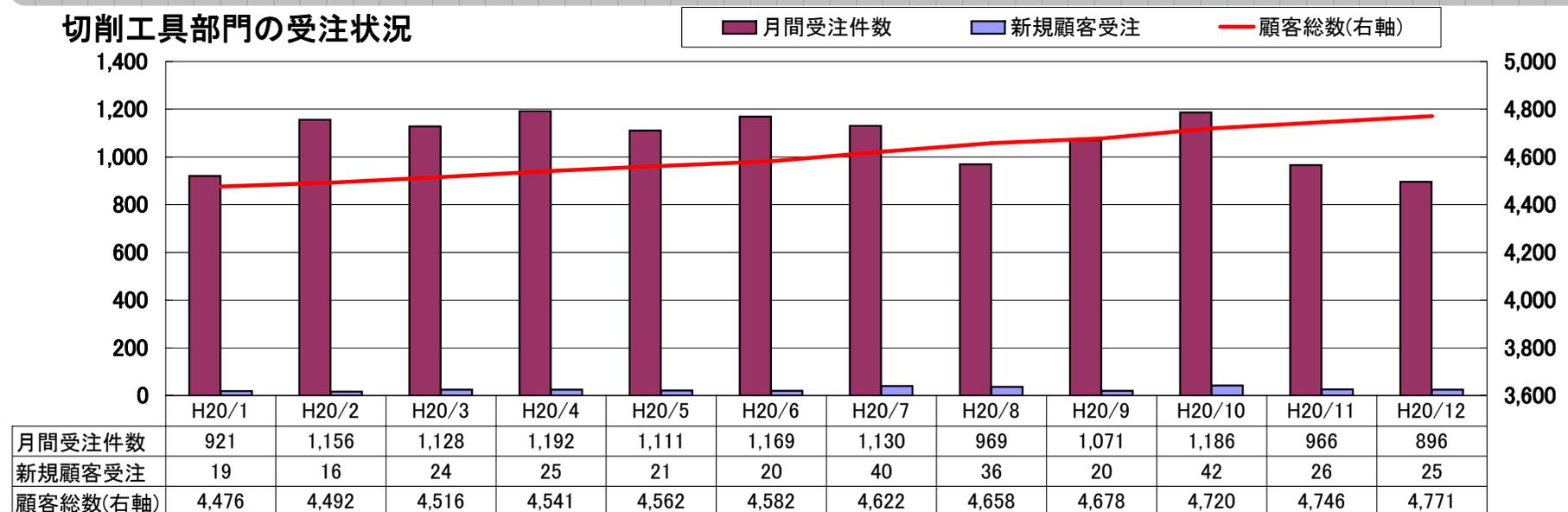
- ◇営業地域拡張し、知名度・認知度向上を目指す
- ◇特殊ものへ対応範囲を拡大し、新たな顧客層の拡大に努める

# 切削工具部門の戦略と受注状況

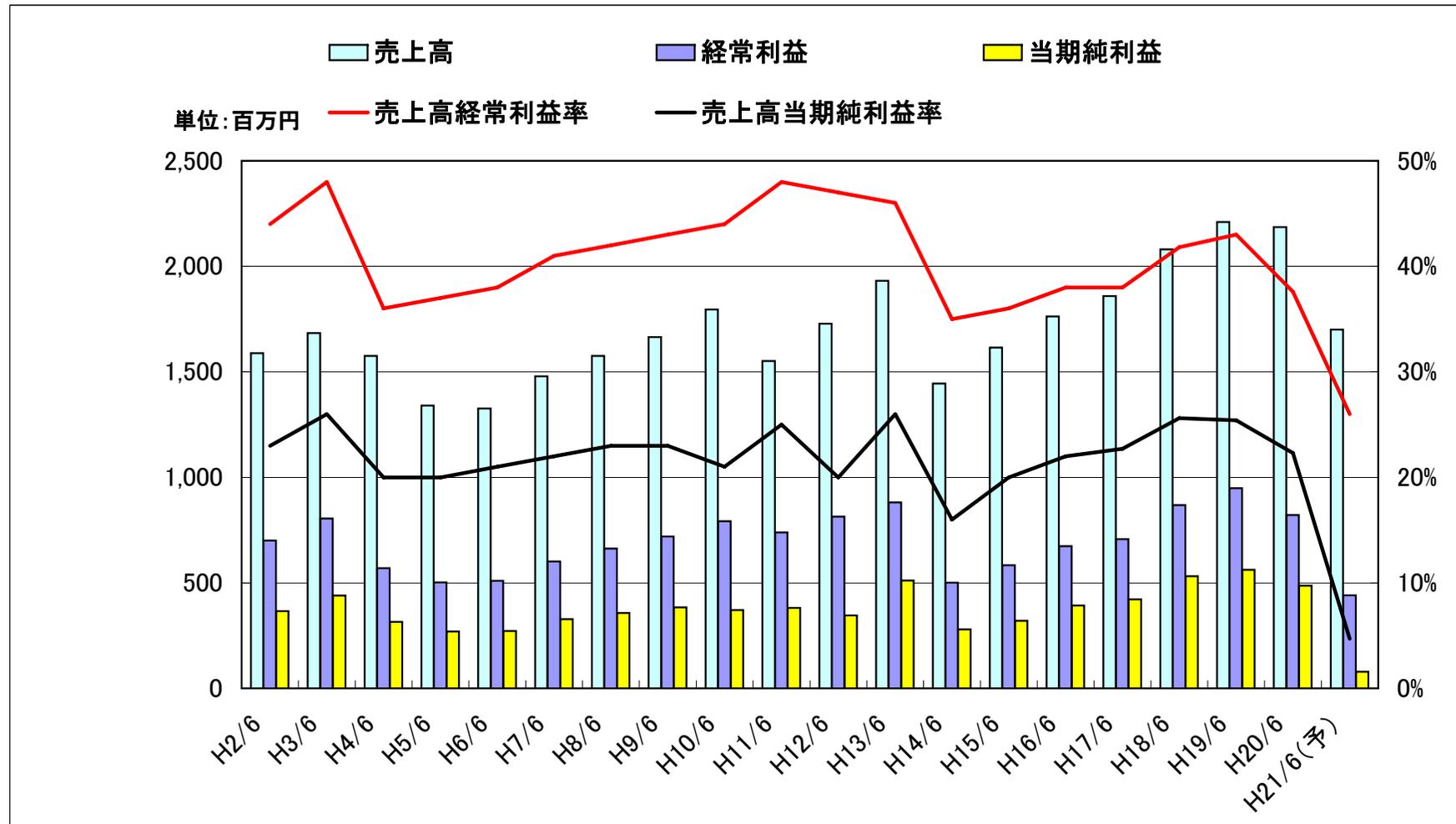
受注体制(人材、設備、社内オペレーション)を万全にする

新規設備導入により特殊ものへの対応を強化する

営業地域拡大し認知度向上と地域浸透度を高める



# 業績の推移



# 実質機械受注と月次売上高

